

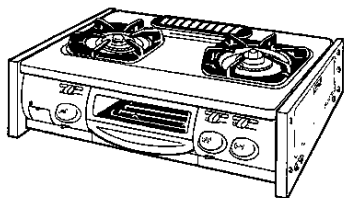
ペアフリー型

# ガステーブルコンロ

10-678/679型

★この機器には設置工事が必要です

型式名 RSU-4600CS-L  
RSU-4600CS-R



## 取扱説明書

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。  
また付属の保証書も必ずお読みいただき、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。
- この取扱説明書の他に設置工事説明書があります。機器の設置、移動、取り替え、修理の際に必要となりますので取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買いもとの販売店、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社でお求めください。

 大阪ガス

# 安全に正しくお使いいただくために

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのごサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。また、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。




## もくじ

- 安全に正しくお使いいただくために.....1・2・3・4
- 天ぷら油過熱防止機能について.....5
- 各部のなまえ.....6
- 機器の設置.....7・8
- 使いかた.....9・10・11・12・13
- 日常の点検とお手入れ.....14・15・16
- 故障かな？と思ったら.....17
- 寸法図.....18
- 仕様.....19
- 保管とアフターサービス.....20
- 別売部品のご紹介.....21

### ＜安全に正しくお使いいただくために＞

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。




### 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

## 危険

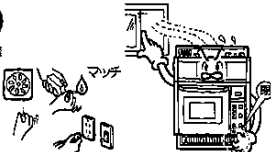
ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用を中止しガス栓（中間コック）を閉める。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ③お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社に連絡する。



火気厳禁




マンセ


## 警告

使用ガスと、銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）が合っていることを確認する。転居したときも使用ガスと銘板の表示が合っているか確認する。

使用ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発・火災やけいどをすることがあります。また、事故の原因にもなります。銘板は機器の右側面に張ってあります。使用ガスがわからない場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。



ガス種の確認



ガスグループ

ガス消費量

＜例＞銘板（12A・13Aの組合）

12A・13A	
形式の呼び名	都市ガス
製造年月および製造番号	
リンナイ株式会社	

**警告**

火をつけたまま機器から離れない。

火をつけたまま離れたり、おやすみになることは禁止します。  
特に天ぷら、揚げ物をしているときは危険です。電話や来客などの場合は、いったん火を消す。  
料理中のものが焦げたり燃えたりして火災になる場合があります。



燃えやすい物を近くに置かない。

可燃性ガスを近くで使用しない、置かない。  
カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、スプレー缶・ガソリン・ベンジンなどの引火のおそれのあるものを近くに置いたり、使用しない。機器の下に新聞紙やビニールシート等の可燃物を敷かない。引火し火災や爆発をおこすことがあります。

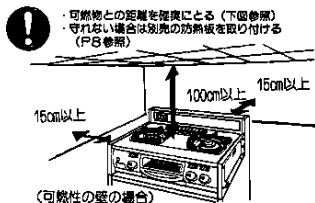


設置するときは可燃物との距離を確実に離す。

火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと、火災の原因になります。また、可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、長年経過後に可燃物が炭化し火災になることがあります。

機器を設置した後周辺の改装をしない。

吊戸棚などをつけない。可燃物との距離が守れなく火災になることがあります。



(可燃性の壁の場合)



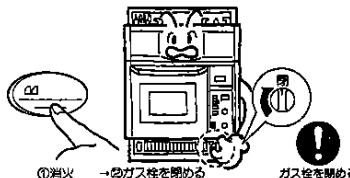
排気口をふさがない。

排気口の上をなべ・アルミはく・心金などでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。



地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。

あわてず消火しガス栓（中間コック）を閉める。  
「故障かな?と懸つたら」(P16)を参照ください。



ガス接続には専門の資格・技術が必要です。

機器の設置・移動・買い替えの際には、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。



幼いお子様だけで使わせない。

けがややけどをさせる恐れがあります。



機器に手を加えない。

日常の点検とお手入れ(P.14、15)以外の部品は、絶対に分解したり修理・改造をおこなわない。ガス漏れや火災の原因になります。



**注意**

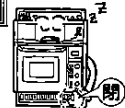
使用中は換気をする。

ご使用と同時に窓をあけたり換気扇を回すなど必ず換気をしてください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



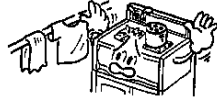
使用後は必ず消火を確認する。  
外出やおやすみ前はガス栓（中間コック）を閉める。

ガス事故防止のために必ずおこなってください。



調理以外に使わない。

火災や焼損の原因になります。衣類の乾燥や焼灼の火起こしなどしない。  
衣類などが落下して火災になることがあります。



トッププレートは確実に取り付ける。

バーナーの炎がトッププレートの下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。(機器内部にトッププレートを引掛けるツメがあります。取り付けるときはトッププレート手前の凹溝を上から軽く押え付け、空きのないようにしてください。)



トッププレート  
引掛けるツメ  
(機器内部)

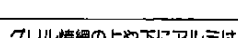
トップ  
プレート

正しいセット

誤ったセットの例

点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ。

たまったガスに着火しやけどをする原因になります。



グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない。

アルミはくの上に脂がたまり発火し火災の原因になります。



グリル水入れ皿は、こまめに掃除する。

脂がたまらないように、使用ごとに掃除してください。掃除しないとたまった脂が過熱され、発火し火災の原因になります。



グリル水入れ皿に必ず水を入れて使う。

水入れ皿に水がない場合は、たまった脂が過熱され発火し火災の原因になります。焼けて使用する時は、そのつど水をたしてください。水以外のものは入れないでください。

グリル庫内に食品屑やふきんなどないことを確認する。

使用中に燃え火災の原因になります。



## 注意

使用中、使用後は、操作ボタン・グリルとびら取っ手・つまみ以外はさわらない。

使用中・使用後は、ボタン・グリルとびら取っ手・つまみ以外は高温です。さわらないでください。特に幼いお子様がいらっしゃる家庭ではやけどに注意してください。



グリル排気口に手や顔などを近づけない。なべの取っ手を排気口に向けない。

グリルを使うとき排気口から高温の排気が出てきます。やけどに注意してください。



魚を裏返す・取り出す時手や腕がグリルとびらやガラスに触れない。

グリルとびらやガラスは高温になっています。やけどに注意してください。



グリルとびらガラスに水をかけない・衝撃を加えない・傷をつけない。

ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。また、とびらが変形したり、閉まらなくなります。



点火操作をするときはバーナー・グリル排気口付近に顔を近づけない。

炎や熱でやけどすることがあります。



車両・船舶での使用はしない。

使用中に機器が傾いたり、火災や、やけどの原因となります。



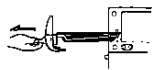
コンロ使用時は体の一部や衣服をバーナーに近づけない。

衣服に炎が移ったりしてけが、やけどをする原因になります。



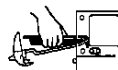
グリルとびらの開閉はゆっくり確実に。

水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを引き出すとき持ち上げたま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどすることがあります。こぼれない様に注意してください。



グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない。

グリルとびらが落下しけがやけどをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。



やかんやなべの取っ手がコンロバーナーの炎で過熱され焼損することがあります。火力を調節してください。

やかんやなべの取っ手は熱くなります。やけどに注意してください。



しる受け皿はバーナーキャップの上ののせたり、斜めにしてセットしない。

バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器故障の原因になります。



バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゆうぶん切ってからセットする。

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。



機器本体内部をお手入れする場合は、各部品の突起部などに注意する。

強く当たった場合手などをけがする場合があります。



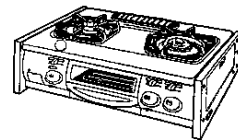
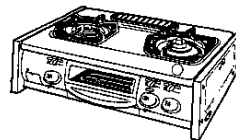
## 天ぷら油過熱防止機能（標準バーナーのみについてます）

天ぷら油過熱防止機能とは…

天ぷら、フライなどの揚げ物の調理で、調理油の過熱しすぎによって起こる火災を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。このとき、フーガ噴出をお知らせします。

揚げ物の調理されるときは、必ずこの機能のついているバーナーを使用してください。

※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは下図のようにトッププレート上面に「油」の表示ラベルと前面パネルに「揚げもの煎」と表示してあります。



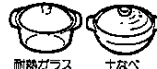
## 注意

揚げ物の調理されるときは、必ず標準バーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用してください。

## 警告

油料理には耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。

調理油が発火することがあります。



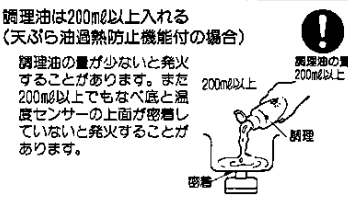
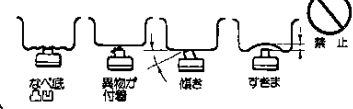
温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。

そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。



調理油は200ml以上入れる（天ぷら油過熱防止機能付の場合）

調理油の量が少ないと発火することがあります。また200ml以上でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。



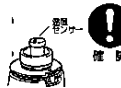
## 注意

温度センサーのお手入れはこまめにおこなう。また上下にスムーズに動くことを確認する。

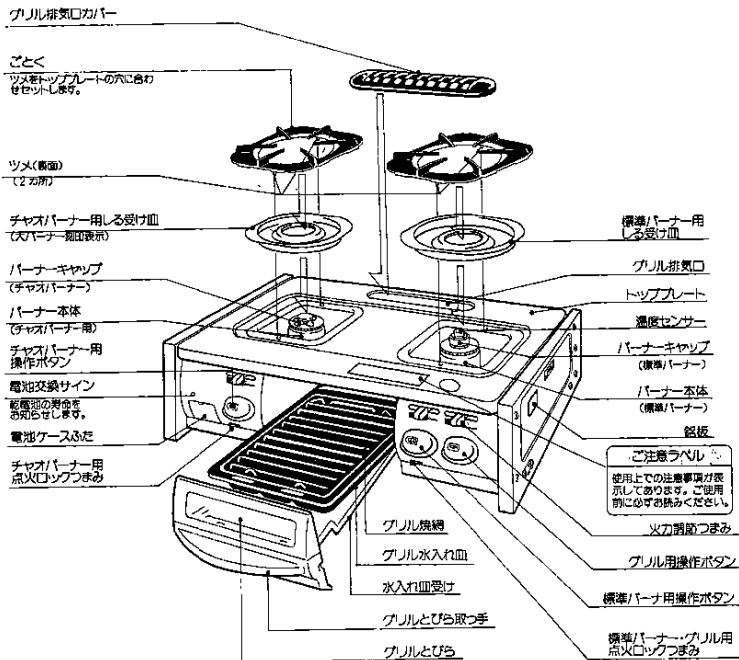
異物がついていたり、温度センサーの動きが悪いとなべ底と密着しないため正常に機能が働かないことがあります。

温度センサーに強いシヨックを加えたりキズをつけない。

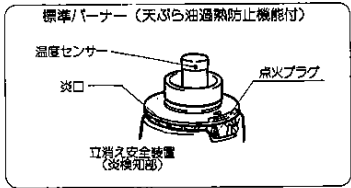
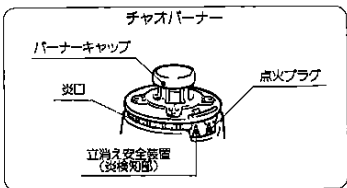
なべ底に温度センサーが密着しなくなり温度センサーが正しく作動しない場合、調理油が発火することがあります。



# 各部のなまえ



**ご注意ラベル**  
 使用上での注意事項が表示してあります。ご使用前に必ずお読みください。



※図は、10-878型です。10-879型は、チャオバーナーと標準バーナーが左右逆になります。  
 ※1つの操作ボタンを押すと点火装置が働き、パチ/チ音とともにすべてのバーナーの点火プラグから火花がでます。

# 機器の設置

## ●設置前の準備と確認

- ・型式名、ガス種、製造年月は機器右側面の銘板に表示してあります。
- ・銘板のガス(ガスグループ)と使用ガスが合っているか確認します。
- ・輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。

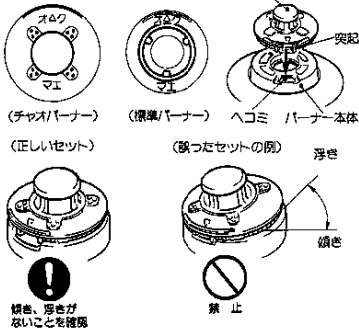
ガスの種類を確かめてください。

ガスグループ	
型式名	型式の呼び名 12A用 13A用
ガスグループ	銘板ガス 12A用 13A用
	ガス消費量
	製造年月および製造番号 RN(0)
リンナイ株式会社	

## ●部品の取り付け

### バーナーキャップ

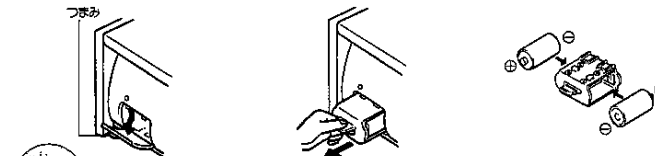
「OK」印を後側にしてバーナーキャップの突起部をバーナー本体の凹部に合わせてつけます。バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていると炎が不ぞろいになったり異常燃焼し危険です。また標準バーナーでは温度センサーの故障の原因になります。バーナーキャップ



**お願い** バーナーキャップをセットした後、必ず正常に燃焼しているかどうか確認してください。

### 乾電池の取り付け

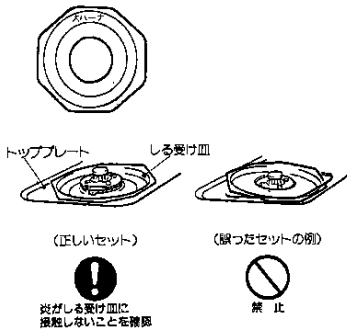
1. 電池ケースのふたを開ける
2. 電池ケースを引き出す
3. 乾電池を取り付ける



**お願い** ●乾電池の寿命は約1年を目安としてください。  
 ●乾電池は必ずを確認しながら取り付けてください。

### しる受け皿

・内側の穴の大きい方(大バーナー刻印)がチャオバーナー用、小さい方が標準バーナー用です。



●設置場所および周囲の防火措置

この機器は、主にペアフリー型下部ユニット（ペアフリー型コンビネーションレンジ、コンベック、オーブン）と組み合わせて、一体型ガスレンジとして使用されるため、ゴム管接続用のホースエンドは付いていません。

・燃焼の設置、ペアフリー型下部ユニットとの組み付け、機器をゴム管接続に変更する等、設置・ガス接続についてはお買いもとの販売店、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス社にお問い合わせください。

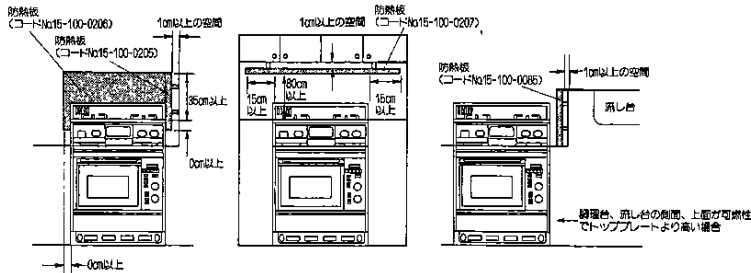
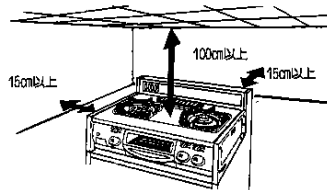
■次のような場所に設置してください。

- ・強い風の吹き込まない場所
- ・丈夫で水平な場所
- ・落下物の危険のない場所
- ・付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- ・上に樹脂製の照明器具のない場所
- ・上に湯沸器がない場所

■周囲に可燃物（木製の壁、タナなど）のある場合はつぎのように設置してください。

- ・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。

■可燃性の壁（ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上、また、上部は器体上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。



- ・防熱板については、お買いもとの販売店、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス社で求めください。
- ・指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

お願い チャオバーナーは壁面に設置しないでください。

警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。(火災予防条例で定められています) 距離が近いと火災の原因になります。

●コンロをお使いになる前に

■調理方法によるコンロバーナーの選びかた

標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付) ..... 天ぷら、フライなどの揚げもの調理、煮もの調理に使用します。

チャオバーナー ..... 焼きもの料理や炒めもの料理など、より高温を必要とする調理、煮もの料理、冷凍食品（うどん・そばなどのなべ付の冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など）の再加熱。

お願い 天ぷら油過熱防止機能が付いた標準バーナーは、高温になると自動的に消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理などのより高温を必要とする料理では、途中で消火してしまうことがあります。また冷凍食品（うどん・そばなどのなべ付の冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など）は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく機能しないことがありますのでチャオバーナーをお使いください。

■標準バーナー（天ぷら油過熱防止機能付）の正しい使いかた

なべの選びかた

油料理に適するなべ

鉄やアルミ製のなべ・天ぷらなべ・フライパン



油料理に適さないなべ (発火の恐れがあります)

ステンレスやホーロー製のフライパン・なべ  
中華なべ、打ち出しなべ、無水なべ



適さないもの (調理中に消火する恐れがあります)

焼き網



チャオバーナーを使用してください。

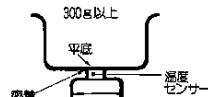
調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと発火することがあります。

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上が必要ですが、できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。

！  
なべ底と温度センサーの密着を確認



警告

油料理は耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。



耐熱ガラス

土なべ

お願い コンロ上の魚焼き・鉄板焼などはしないでください。トッププレートのフッ素樹脂の色が変わったり、はがれることがあります。

警告

温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。

そのまま使用すると調理油が発火することがあります。

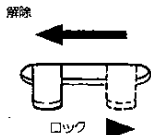


調理油の量は200ml以上入れる。少ないと発火することがあります。

### ●コンロの使いかた

#### ■点火ロック

- ・操作ボタンをロックするときは点火ロックつまみを▶の方向にスライドします。
- ・点火操作のときは点火ロックつまみを矢印の方向にスライドし解除の位置に戻します。

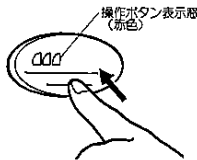


#### お願い

- ・点火時にロック操作はできません。
- ・点火ロックは左右コンロ・グリルの点火操作がロックされます。

#### ■点火

操作ボタンを矢印の方向に押し込みます。点火装置がたらき「パチパチ」音とともにコンロ/バーナーに点火します。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間（安全装置がセットされるまで）押し続けま。



#### お願い

- ・火力調節つまみの位置が「弱火」のときに操作ボタンを押すと「強火」の方向に移動する構造になっています。
- ・点火するときは必ずなべをのせてください。

※「パチパチ」と放電して炎口に着火します。

#### ■火力調節

火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせて火力を調節します。

- 「強」：強火になります。
- 「弱」：弱火になります。

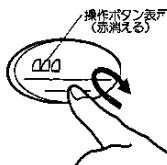
強火から弱火にスライドさせると、火力調節つまみは一度中間で止まります。さらに弱火にしたいときは、火力調節つまみを少し持ち上げてから右に移動させます。



#### ■消火

操作ボタンを矢印の方向に押します。操作ボタンが戻り消火します。ボタン表示窓の赤色が消えます。

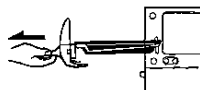
- ・消火したことを確かめます。
- ・ガス栓を閉じます。
- ・使用後は点火ロックつまみを「ロック」の位置にします。



### ●グリルをお使いになる前に

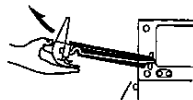
#### ■グリルとびらの開け方

- ・グリルとびら取っ手を持って止まるところまでゆっくり引き出しそのまま手をそえながら下におろします。



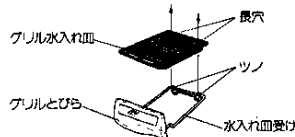
#### ■グリル水入れ皿の取り外し方

- ・グリルとびら取っ手を持つまま引き出し、前方を少し持ち上げながら本体より取り外します。



#### ■グリル水入れ皿のセット

- ・グリル水入れ皿の「前」刻印を手前にして、グリル水入れ皿受け後部のツノを差し入れてセットします。



#### ■予熱

点火後約3分程予熱し、強い火になってから材料を入れてください。またこのとき、グリル焼網も同時に熱しておくかサラダ油を塗っておきますと材料がグリル焼網に付着しにくくなります。



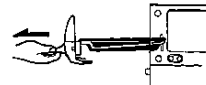
### △注意

グリルとびらの開閉はゆっくり確実に。

水平にゆっくり開閉してください。グリルとびらを引き出すとき持ち上げたまき引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。こぼれない様に注意してください。



ゆっくり確実に



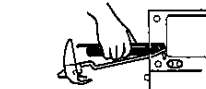
### △注意

グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない。

グリルとびらが落下しけがややけどをすることがあります。



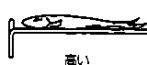
禁止



#### ■グリル焼網

グリル焼網はひっくりかえすことにより、網の高さが変えられます。焼きものの種類・大きさによって高い低いを選んでください。グリル焼網はグリル水入れ皿に入れてご使用ください。

身が薄めのもの



高い

身が厚めのもの



低い

#### ■魚焼きのこつ

- ①魚は水洗いしたらよく水をふきとりませう。
- ②こげやすい部分や皮などは専用の塩を振りかけておくか、アルミはくで包んでおくことこげ方が少なくなります。
- ③塩を振ったら、おいしさが逃げないように焼きます。

アルミはく



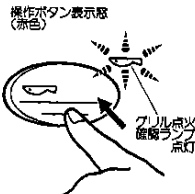
### ●グリルのつかいかた

グリルをはじめとお使いになる場合は、必ず15分くらいから焼きをしてください。部品に付着した油を焼き切るため、このとき煙がでますが異常ではありません。

●点火ロックを解除します。(P10参照)

#### ●点火

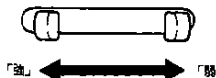
操作ボタンを矢印の方向に押し込みます。点火装置がだたらき「パチパチ」音とともにグリルバーナーに点火します。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間(安全装置がセットされるまで)押し続けます。点火時は表示窓が赤色になります。またグリル点火確認ランプが点灯します。



※「パチパチ」と放電してバーナーに着火します。

#### ●火力調節

・火力つまみを左右にゆつくりとスライドさせて火力を調節してください。  
「強」：強火になります。「弱」：弱火になります。



#### ●消火

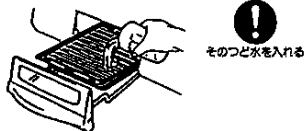
操作ボタンを矢印の方向に押します。操作ボタンが戻り消火します。ボタン表示窓の赤色が消え、またグリル点火確認ランプが消灯します。  
・消火したことを確かめます。  
・ガス栓を閉じます。  
・使用後は点火ロックつまみを「ロック」の位置にします。



## △注意

グリル水入れ皿は必ず水を(約200ml)入れて使う。たまった油脂は取り除く。

水がない場合は、たまった油脂が過熱されて発火しグリル排気口より炎が出ることがあります。焼けて使用する場合はそのつど油脂を取り除き水を入れてください。



### お願い

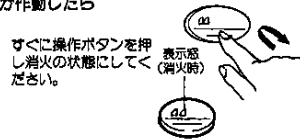
- ・グリル水入れ皿に脂がたまらないように、こまめに掃除をしてください。
- ・肉や脂肪の多いものを焼く際、煙や炎がグリル排気口から出たり、材料に火が移ったりすることがありますから、注意しながら調理してください。また調理中は離れないでください。
- ・グリルとひらは必ずしっかりと閉めてご使用ください。グリルとひらが開いたままですと、上部の化粧板が変色したり、トッププレートが熱くなって熱れるとやけどすることがあります。

### ●立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

●立消え安全装置が作動したら

使用中、火が消えたときは?



すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。

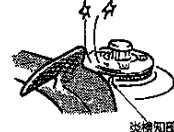
表示窓(消火時)

再点火するときは?

周囲にガスがなくなるまでしばらく待って、炎検知部の汚れをふきとってからご使用ください。

### お願い

- ・立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごとくの上のせてください。(煮こぼれにも注意してください。)
- ・炎検知部に固いものをぶつけないでください。まがたり、変形し、点火しにくくなります。

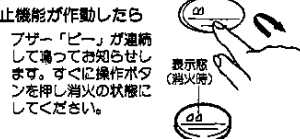


### ●天ぷら油過熱防止機能(標準バーナーのみ)

消し忘れ・来客対応などによる調理油の加熱しすぎを防止します。

●天ぷら油過熱防止機能が作動したら

使用中、火が消えたときは?



プザー「ピー」が連続して鳴ってお知らせします。すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。

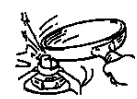
表示窓(消火時)

再点火するときは?

なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れただなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。熱いなべをのせたまま、再点火すると消火する場合があります。

### お願い

- ・温度センサー部に強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。温度センサーが正しく作動しなくなる場合があります。
- ・温度センサー部はいつも清潔にしてください。温度センサー部には煎汁や水などをかけないでください。もし、煎汁やゴミが付着したときは、布に水を含みよく拭きとってください。また、なべややかんの底も清潔にしてご使用ください。
- ・温度センサーの動きが悪く、なべ底と密着しない場合には、点検・修理を依頼してください。



### ●電池交換サイン

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池交換サインが付いています。

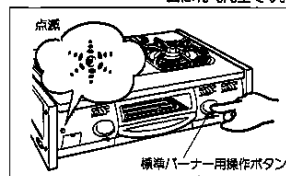
点滅した新しい乾電池を用直し、点灯が変わったら交換してください。(P7参照)

●点滅から点灯になると使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。

●電池交換サインは、標準バーナーの操作ボタンを押したときだけ作動します。他の操作ボタンを押したとき、乾電池の容量が少なくなっても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。

●乾電池が正しくセットされていないか、乾電池に全く容量がなくなったりは、電池交換サインは点灯しません。この場合、放電スークの「パチパチ」音がしませんが、ただちに乾電池を点検してください。

図は10-678型です。





# 日常の点検とお手入れ

## 警告

点検・お手入れが必要なところ以外は絶対  
に分解したり、修理・改造は行なわない。



ガス漏れや故障の原因になります。

分解禁止

## お願い

- 点検・お手入れの前には必ずガス栓(中間コック)を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などはめて行ってください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いはしないでください。

## ●点検

点検場所	点検内容
ゴム管	古くなってひび割れたり、折れたり、器体に触れなっていますか。
バーナーキャップ ごたく、しる受け皿 グリル排気口カバー	正しくセットされていますか。
バーナー本体の炎口部 バーナーキャップ 立消え安全装置の炎検知部 温度センサー	煮こぼれなどがこびりついていませんか。
グリル水入れ皿	油膜がたまっていますか。
機器周辺	燃えやすいものが置いてありませんか。
温度センサー	指で押したときスムーズに動きませんか。また、指を離したときすなおに元の位置に戻りますか。

## ●お手入れ

### お願い

- 機器の表面は塗装、ホーローなどの処理がしてありますので使用する洗剤、たわしなどの種類を確認してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。

<p>使ってよいもの</p> <p>中性洗剤</p> <p>やわらかい布</p> <p>スポンジ たわし</p>	<p>使っていけないもの</p> <p>禁止</p> <p>ミガキ粉</p> <p>強性アルカリ性洗剤</p> <p>金属たわし</p> <p>ワイロンたわし</p>
--	---

### 機器本体のごたく・しる受け皿

- 中性洗剤でお手入れした後乾いた布で水気を十分とります。

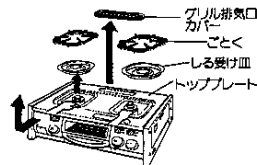
# 日常の点検とお手入れ

## トッププレート

- 表面が汚れたらそのつどぬれふきんでふきとります。  
※汚れがおちにくいとき
- 中性洗剤で汚れた部分を濡らせておき、しばらくしてからスポンジたわしや布などでふきとります。

## 取り外しかた

トッププレートの取り外しは、ごとく、しる受け皿、グリル排気口カバーを外し、トッププレートのしる受け皿用の穴を望の壁に両手で持って、手前に引きながら上に持ち上げてください。



## 取り付けかた

トッププレートを機器の上に置くと、手前が少し浮き上がりますので、両端を軽く押え付けて、浮きのないようにしてください。

## 注意

トッププレートの手前を持って取り外さない。  
機器内部両端には、トッププレートを引掛けるツメがあります。トッププレート手前の両端を持って取り外すと、このツメで指を傷つける恐れがあります。

禁止

## 注意

トッププレートは確実に取り付ける。  
バーナーの炎がトッププレートの下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。(機器内部両端にトッププレートを引掛けるツメがあります。取り付けるときはトッププレート手前の両端を上から軽く押え付け、浮きのないようにしてください。)

禁止

正しいセット

誤ったセットの例

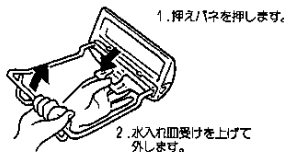
### お願い

- 汚れたまま使用しているとシミが残りますので、こまめに手入れしてください。
- お手入れ後は、トッププレートの手前両端をおさえ確実にセットしてください。
- トッププレートには安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。またお手入れの際にははがれないようご注意ください。

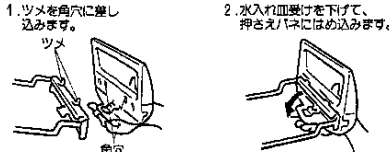
グリル水入れ皿・グリルとびら・グリル水入れ皿受け

中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとってください。

取り外しかた



取り付けかた



バーナーキャップ

炭が不着いになったときは炭口をブラシや針金などで汚れを落とします。

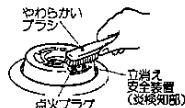


お願い

- 掃除後は正しくセットし正常に燃焼することを確認してください。(P7参照)
- バーナーキャップの黒い部分(炭口は除く)は中性洗剤、スポンジで洗ってください。万一、黒い部分がはがれても使用にさしつかえありません。そのままご使用いただけます。

立消え安全装置

炭検知部に汚れがこびりついている部分は綿ブラシなどの柔らかいブラシで汚れを落としてください。



お願い

かたいブラシなどで決してみがかないでください。故障の原因となります。

## 注意

バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゆうぶん切ってからセットする。  
炭口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。



水気を切る

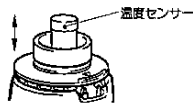
温度センサー

## 注意

温度センサーのお手入れはこまめにおこなう。また上下にスムーズに動くことを確認する。  
異物が付いたり、温度センサーの動きが悪いとなべ蓋と密着しないため正常に機能が作動しないことがあります。



異物をとる上下動きを確認



次のことを調べてください。

症状	原因	処置
点火しない	ガス栓の閉き忘れ	ガス栓(中間コック)を全開にしてください。
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
標準バーナー	乾電池が入っていないまたは正しくセットされていない	正しくセットしてください。(P7参照)
	電池ケースが確実に差し込まれていない	確実にセットしてください。(P7参照)
点火しにくい	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
	ガス栓の開き不十分	ガス栓(中間コック)を全開にしてください。
	LPGガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。
点火後しばらくして消火する(標準バーナー)	配管中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。 ※朝一番など点火するまでしばらく時間がかります。
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
	バーナーキャップの炭口づまり	炭口を掃除してください。(P16参照)
異常音をだてて燃える	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P7参照)
使用中断しやすい	立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を掃除してください。(P16参照)
実炎で燃える	バーナーキャップの炭口づまり	炭口を掃除してください。(P16参照)
	炭口安定しない	バーナーキャップの取付不良
ガス臭い	ゴム管の接続が不完全	ゴム管をしっかりと接続してください。
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換してください。

なお、異常のあるときやわかりにならないときは、お問い合わせの販売店、またはお近くの大坂ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

## 警告

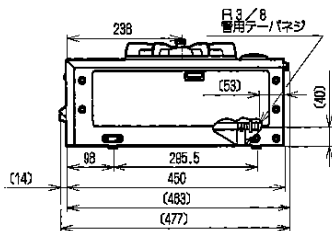
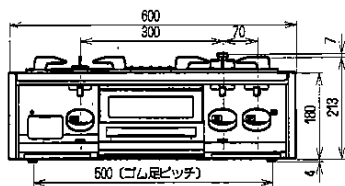
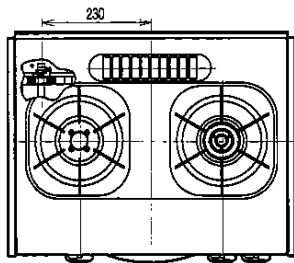
使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。  
あわてずガス栓(中間コック)を閉めてください。

こんな場合は故障ではありません。

- はじめでグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙が出ます。約15分くらい、から焼きすれば、それ以後煙はでません。
- 点火の操作をしているとき、「パチパチ」という放電とともに電池交換サインが薄く点滅することがありますが故障ではありません。
- 朝一番など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。燃焼配管内の空気が抜け、バーナーにガスが来るまで数回、点火をくり返してください。
- 消火時に「ボン」という音が出ることがありますが、これは火が消えたとときの音で異常ではありません。

# 寸法図

(単位：mm)



# 仕様

品名	ベアフリー型ガステーブルコンロ				
品番	10-678型	10-679型			
型式名	RSU-4600CS-L	RSU-4600CS-R			
点火方式	遠赤放電点火				
外形寸法	高さ180mm(トッププレートまでゴム足除く)×幅600mm×奥行483mm				
質量(本体)	13kg				
安全装置	立消え安全装置・天ぷら油過熱防止機能(標準/バーナー)				
電源	DC3.0V(単1形乾電池×2個)				
使用ガスの種類 ガスグループ	1時間当りのガス消費量			ガス接続	
	個別ガス消費量				
	チャオバーナー	標準バーナー	グリル	全点火時 ガス消費量	
都市ガス13A	4.85kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.03kW (1750kcal/h)	9.07kW (7800kcal/h)	R3/8 専用ターナー付 (ベアフリー型 下部ユニットとの 組み合せ仕様)
LPGガス	4.41kW (0.315kg/h)	2.46kW (0.176kg/h)	2.03kW (0.145kg/h)	8.78kW (0.63kg/h)	
付属品	単1形乾電池-2個				

# 保管とアフターサービス

## ●保管(長期間使用しない場合)

- ・ガス栓を閉めてください。
- ・乾電池を電池ケースより抜いてください。  
(乾電池の液もれにより、機器をいためることがあります。)

## ●アフターサービスのお申し込み

### サービスのお申し込み

- ・サービス(点検・修理)を依頼される前に  
「故障かな?と思ったら」(17ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。  
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社ご連絡ください。

- ・ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名.....ガステーブルコンロ
2. 品番.....本体の左奥面に貼付してあります。

例

(N)	10-678	(U)
大阪ガス株式会社	05	

3. 故障、異常の現象.....できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号

### 転居されるとき

- ・ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。  
この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。  
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

### 保証・補修について

- ・保証期間中は.....

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

- ・保証期間経過後の故障修理について

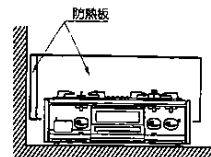
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。  
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保用期間は、製造切後6年間です。

# 別売部品のご紹介

つぎのような別売品を用意しています。  
もよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社でお求めください。

## ●防熱板(コードNo: 15-100-0205、0206)

- ・設置場所で、可燃性の壁(ステンレスなどを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。  
機用 15-100-0205  
後用 15-100-0206



## ●ホースエンド(組)(コードNo: 415-100-0130)

- ・ゴム管やガスコード接続をする場合に使用します。  
取り付けには、専門の資格・技術が必要ですので、お買いもとの販売店、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご相談ください。

